

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

東京濾器株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸高田市向原町坂360

(3) 業種

3113 自動車部分品・附属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19年度を基準年度とし、平成24年度から平成28年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))					
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
エネルギー 起源CO ₂								
非エネルギー 起源CO ₂								
メタン								
一酸化二窒素								
フロン類								
温室効果ガス 実排出量総計								
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量（千個）

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成19年度	平成28年度	平成24年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	3.62	3.44 5	3.41 6				
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位（原油換 算kl）		1.23 5	1.22 6				
実績に対する 自己評価	CO ₂ 排出量は増加しましたが、生産数量が増え原単位では大きく減少						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	LPGガス使用量を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推進体制の整備 ・ 管理基準の作成・変更 ・ 設備毎の定期点検 ・ 設備の電圧等の定期的計測、記録 ・ エネルギー使用量の把握、分析 ・ 過熱設備の負荷適正把握、管理 ・ 過熱工程の合理化
2	電気使用量の削減	電気の使用量を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推進体制の整備 ・ 管理基準の作成・変更 ・ 空気調和設備使用 ・ 電力負荷の平準化、ピークカット ・ 喚起期間、時間、回数の適正管理 ・ コンプレッサー設定圧力適正化 ・ 適正な照度レベル設定 ・ 事務用機器電源遮断 ・ 室内入射熱削減 ・ コンプレッサー稼働時間削減 ・ LED照明の設置

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。